

ビデオメッセージ（第4回）

皆さん、市長の山口です。

本市は、4月に医療機関や高齢者施設などで集団感染が連鎖した「第1波」を経験しました。

その経験を活かし、「第2波」に備えた「体制の強化や支援」とともに、「感染拡大防止と社会経済活動を両立させる」新たなステージに向けて進みます。

全国各地では、新たな陽性患者が確認されており、いまだ収束の見通しは立っておりません。

市内における第2波の発生を予測することはできませんが、経済活動の再開とともに人の動きが活発になってきています。

市では、感染拡大の防止と市内経済活動の両立を図るため、引き続き危機感をもって対応してまいります。

今回は、「第2波への備え」と「第4弾となる経済対策」についてお知らせします。

はじめに、「第2波への備え」として、
まずは、「医療体制の充実」です。

新たな陽性患者が確認された場合、患者の発生状況のほか、症状に応じた受け入れ先の確保が重要となります。

そのため、保健所との連絡体制を強化しており、速やかに協議を行うことで、クラスターの発生を防ぐこととしています。

また、医療機関などの安定した運営や負担軽減に向け、物資の提供や医療従事者に対する支援を行ってまいります。

次は、検査体制の充実です。

速やかな検査体制に向けた、PCR検査センターは、7月2日に運用を開設しました。現在のところ当センターでは、新たな感染者は確認されていませんが、今後、感染状況に応じ、千歳医師会や保健所と協議を行い、検査体制の充実に努めてまいります。

また、検査時間の短縮や医療従事者への感染リスクの少ない検体採取方法の導入について検討してまいります。

次は、情報発信についてです。

第1波では、感染者が確認された以降、情報発信に努めてまいりましたが、市民の皆さまが知りたい情報を、適切な時期に、速やかに伝えることの難しさを痛感しました。

このことから、情報の種類や内容により段階に応じた発信方法を選択することとしました。

一つ目は、患者の発生状況や注意喚起など即時性が求められるものについては、インターネットを活用し、情報量が多く、市民に確実に伝える必要があるものについては、広報ちとせや新聞折り込みなど、紙媒体による発信。

クラスターの発生や、感染者が多数確認された場合など重要なものは記者会見を開催し、メディアを通じて発信します。

その他、継続した情報については、民間テレビ局の地デジ広報やユーチューブ動画を活用するなど、様々な媒体を活用した情報発信を行ってまいります。

次は、経済対策についてです。

市では、これまで、3月の第1弾から6月の第3弾まで、企業向けの経済対策や市民生活や医療機関等を支えるための対策を講じてまいりました。

今回は、第4弾として、子育て支援のほか、消費回復に向けた事業や教育対策、避難所対策などを実施することとしましたのでその概要についてお知らせします。

一つ目は、子育て支援対策として「新生児子育て支援臨時給付金支援事業」です。

国の「特別定額給付金」については、4月27日までに生まれた方が対象でしたが、新型コロナ対策は今後も継続していく必要があり、免疫力が特に低い新生児への子育て支援策として、4月28日以降に生まれた新生児に対しても給付金を支給することとしました。

対象は、4月28日から、令和3年4月1日までに生まれた方とし、給付額は一人当たり10万円です。支給時期等は今後お知らせすることとなりますが、詳しくは、市役所にお問い合わせください。

次は、消費回復支援として「ちとせスーパープレミアム付き商品券発行事業」です。

感染拡大防止と社会経済活動を両立しながら、市内における消費回復と地域経済の活性化に向け、市内の参加店舗で利用可能なプレミアム付き商品券を発行します。

1冊6,000円の商品券を4,000円で購入することができるもので、プレミアム率は50%としています。

一人2冊まで購入可能ですのでご利用ください。

また、市内中小店舗で商品券を2,000円以上使用すると、抽選により景品が当たるアフタープレミアム事業も併せて実施しますので、この機会に是非ご利用ください。

次は、「小中学校ICT機器整備事業」です。

タブレットなどの学習者用コンピュータの整備については、国のGIGAスクール構想により、整備を進めているところですが、コロナ禍において急速に情報化が進展したことから、ICTを活用した教育環境を整備するため、まずは、3クラスに1クラス分程度の整備を今年度中に完了させるものです。

最後は、「避難所感染防止対策用品整備事業」です。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、全国各地では、自然災害が発生しており、指定避難所における感染症対策やプライバシーの確保が重要となっています。

このことから、新たな災害に備え、各避難所に設置が可能な段ボール製のパーテーションとベッドを備蓄します。

今回のお知らせは以上となりますが、

全国各地では、新たな陽性患者が増加しているほか、クラスターが発生するなど、いまだ収束の見通しは立っておりません。

千歳市では、引き続き強い危機感をもって対応してまいりますが、市民の皆さんも「北海道スタイル」を励行していただき、感染拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。